

## 2015年JR春闘を職場から闘おう！ 第28回定期中央委員会開催

JR東海労は2月11日、名古屋市「ワークライフプラザれある」で第28回定期中央委員会を開催しました。

来賓として、JR総連榎本書記長、同松田組織共闘部長、田城郁事務所畠山秘書、鉄道ファミリー石川取締役営業部長、同加藤営業担当部長、楠元関ヶ原町議会議員、JR東海労OB会宇留生会長が出席されました。



春の闘いの課題は、①ベア6,000円、基準昇給額一律1,500円と経過年数による低減撤廃、夏季手当3.5ヶ月の賃金獲得を目指すこと、②諸手当、要員改善など労働条件改善の闘い、③不当なボーナス・昇給カットなど組織破壊攻撃を許さず、反弹圧の闘いを推し進めること、④安倍政権の暴走、戦争への道を許さず、平和・人権・民主主義を守るために、田城郁応援プロジェクトをさらに推進することです。



淵上委員長は、4点の課題について「職場からJR東海労の存在感を示し闘おう」と訴えました。11名の中央委員から、職場・地域における実践や闘い教訓点など、積極的な発言がされ、2015年JR春闘を中心とした活動方針を満場一致で決定しました。